



⑥ 手作り釣竿・ハイキングのマナー

水遊びをもっと楽しく 観察と工夫がポイント

【手作り釣竿】

今年の夏もやっぱり暑い。省エネが叫ばれる昨今、涼と楽を感じる活動といえば「水遊び」でしょう。皆さん子どもの頃、麦わら帽子に短パン、手には網を持って川で水生生物を採集して遊んだのではないでしょう。中には、竹を編んだ筒でうなぎを捕っていたという強者もいらっしゃるはず。

釣り竿のつくり方

- 1 新聞をなるべく細くなるように丸め、竿を作る。
- 2 仕掛けを作り、竿にくくりつける。
- 3 仕掛けの長さや針の大きさは狙う魚の大きさによって調整する。



新聞竿でのメダカ釣り

釣り竿の準備物(新聞紙、テープ、釣り針、釣り糸、おもり(ガン玉)・(上)、針をくくりつたら、ガン玉をつける(下))

【ハイキングのマナー】

わが町の環境点検や史跡探訪、写真コンテストなどさまざまなハイキングイベントが展開されています。ハイキングを楽しむ場所は公共の場。みんなが楽しむための準備物や、守らなければならないマナーがあります。



番号確認

適切な準備で自然を楽しむ 年長者の経験を次世代へ

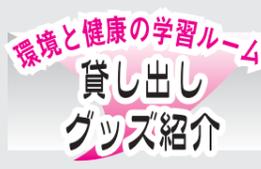


一列で歩く

今回はトラブルを避け、安全にイベントを運営するポイントをいくつか紹介します。自然への配慮・登山道を外れない、トイレの方法を考案。特に子どもが複数いる場合には、集合・解散・昼食場所はトイレのある場所を設

定する配慮が必要です。他のハイカーへの配慮... 静かに歩く、道いっばいに広がらない、基本は上りが優先。他のハイカーとすれ違う際には、足場に注意して譲り合ひましょう。ハイキングの服装... ハイキングの服装の基本は「重ね着」。高度が百以上になると、六度気温が下がり、風速一桁ごとに体感温度は一度下がります。脱いだり着たり、こまめな体温調節ができるように準備しましょう。靴は、くるぶしまで覆うハイカットタイプが入ると安心です。定期的な点検をして、人数や体調の確認をしましょう。必ずしておきたい事前準備... 適切な保険に加入する。計画書は、代表者の緊急連絡先、イベントの目的、コースやスケジュール、参加者の連絡先などを記載し、管轄の警察署に提出します。自然遊びは、予想される事故などに備えることが大切です。危ないから実施しない、遊ばせないではなく、何ができるように危ないからどうやって気をつけるかを考え、自然の楽しさや役割を経験のある年長者から次世代へ伝えていきたいと思えます。(地域活動支援センター 馬場田 真一)

当協会では、地域で行われるイベントや学習会などで活用いただけるよう、さまざまなグッズを貸し出しています。シリーズ2回目は、人気グッズベスト3の発表と、活用事例の紹介です。最も人気のあるグッズは、脱温暖化推進キット。です。LED・蛍光灯・白熱電球の消費電力や明るさの違いを体験できる「調光器付きくらべる君」や「LED・蛍光灯・白熱球エネルギー比較実験器」、自転車をこいで電気を作り、家電を作動できる「エネトレ」、脱温暖化活動をPRできる「はんでん」「のぼり」が特に人気です。続いて、人気グッズ第2位は「ごみの分別指導」に活用できる「ごみ箱」や、ごみの排出抑制をPRできる「はんでん」「のぼり」が人気です。そして、第3位は「リサイクルキット」。いろいろなふろしきの包み方を紹介したパネルや、ごみの分別について楽しく考える「ごみの分別エコマークカード」などが人気です。



② 人気ベスト3



「ごみの分別エコマークカード」を使ったカリもの競争

それでは、いくつか活用事例を紹介いたします。

～活用事例～

◆脱温暖化推進キット

坂町公衆衛生推進協議会では、町内の小学4～6年生を対象としたECOキッズ講座で、「調光器付きくらべる君」「エネトレ」を活用。家電の消費電力の違いや、自ら自転車をこいで作った電気だけで作った電気でどれだけ家電が作動できるかを体験し、電気の大ささと家庭でできる取り組みを学んでもらった。

◆リサイクルキット

福山市神辺学区公衆衛生推進委員会では、学区の運動会で「ごみの分別エコマークカード」を活用。箱の中からカードを1枚引き、カードと同じリサイクルマークが描かれた物を持って来る競技を実施。参加者のリサイクルへの意識を高めるのに役立った。

◇ 次回は、10月の「3R推進月間」にお勧めのグッズを紹介します。(地域活動支援センター)

脱温暖化推進キットが好評 楽しみながら活用を！



「調光器付きくらべる君」を活用し、LED電球と白熱電球の消費電力や明るさの違いを体験

職場環境は快適ですか？

作業環境測定業務【ホルムアルデヒド編】

特定化学物質障害予防規則が改正され、平成21年3月から医療機関などで使用されているホルムアルデヒド(ホルマリン)について、作業環境測定を行う必要があります。当会は、広島県の登録機関として作業環境測定を行っております。お気軽にお問い合わせください。

○問合せ先 ○ 〒730-8631 広島市中区広瀬北町9-1 (財) 広島県環境保健協会 環境生活センター 環境調査課 TEL: 082 (293) 1511 (大代表) FAX: 082 (293) 5049 URL: http://www.kanhokyo.or.jp/

